

日本のITの将来を描く青写真

CA Technologiesが委託してVanson Bourne 社によって実施された調査により、ITの役割が今日のビジネスにどのように根本的な変化をもたらしているのか、そしてまたその変化が必ずしもITリーダーやIT担当者にメリットをもたらすものではないことが示されました。本調査は、IT部門の現在と将来の姿を探るために、日本を含む21ヶ国の大手企業・組織に所属する1,300名の上級IT幹部を対象に実施されました。

明らかな点: ITの世界は変化しており、我々は現在とは異なるIT部門を構築する必要があること。

この「将来のIT」にどのような未来図を描いたらよいのでしょうか？



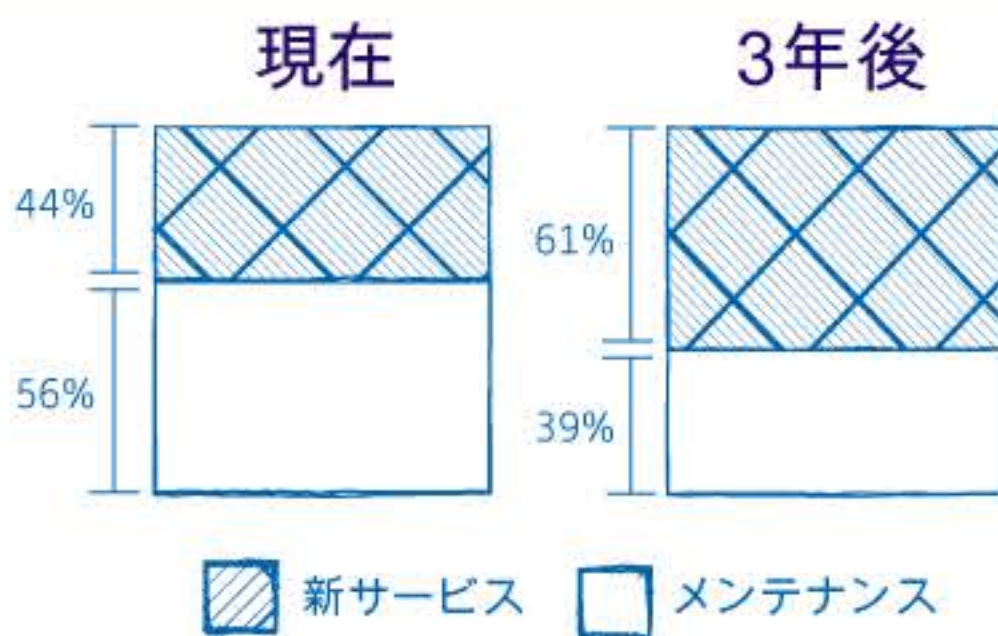
資金の行方

IT部門は、もはや大きなIT投資を行うだけの存在ではありません。実際、今日ではIT支出の約4分の1 (24%) はIT部門以外からのものであり、この数字は今後3年間で39%にまで上ると予想されている。

新しいビジネスサービスへの支出の増大

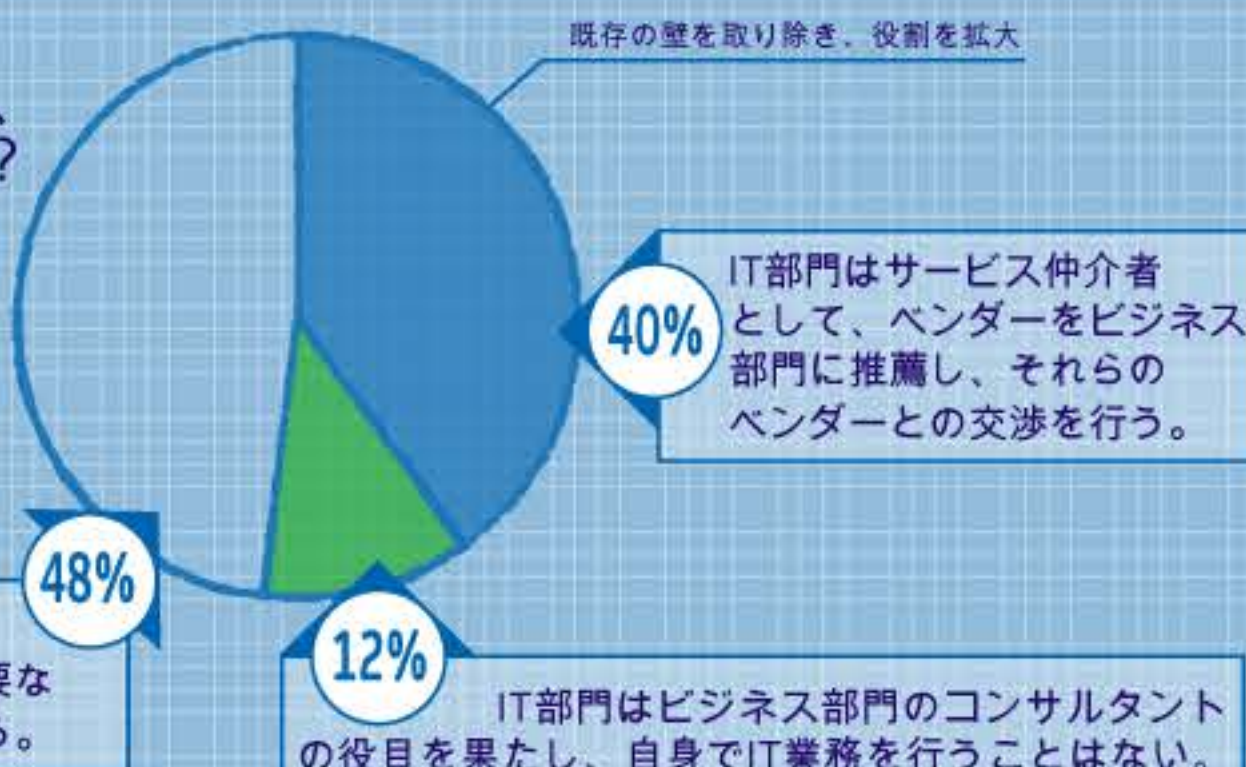
IT支出全体は「現状維持」から新しいビジネス・イニシアチブへと移行しつつあり、総IT予算に占める新しい製品とサービスへの支出の割合は、今後3年間で44%から61%へと増大すると予想されている。

IT予算: メンテナンス 対 新製品



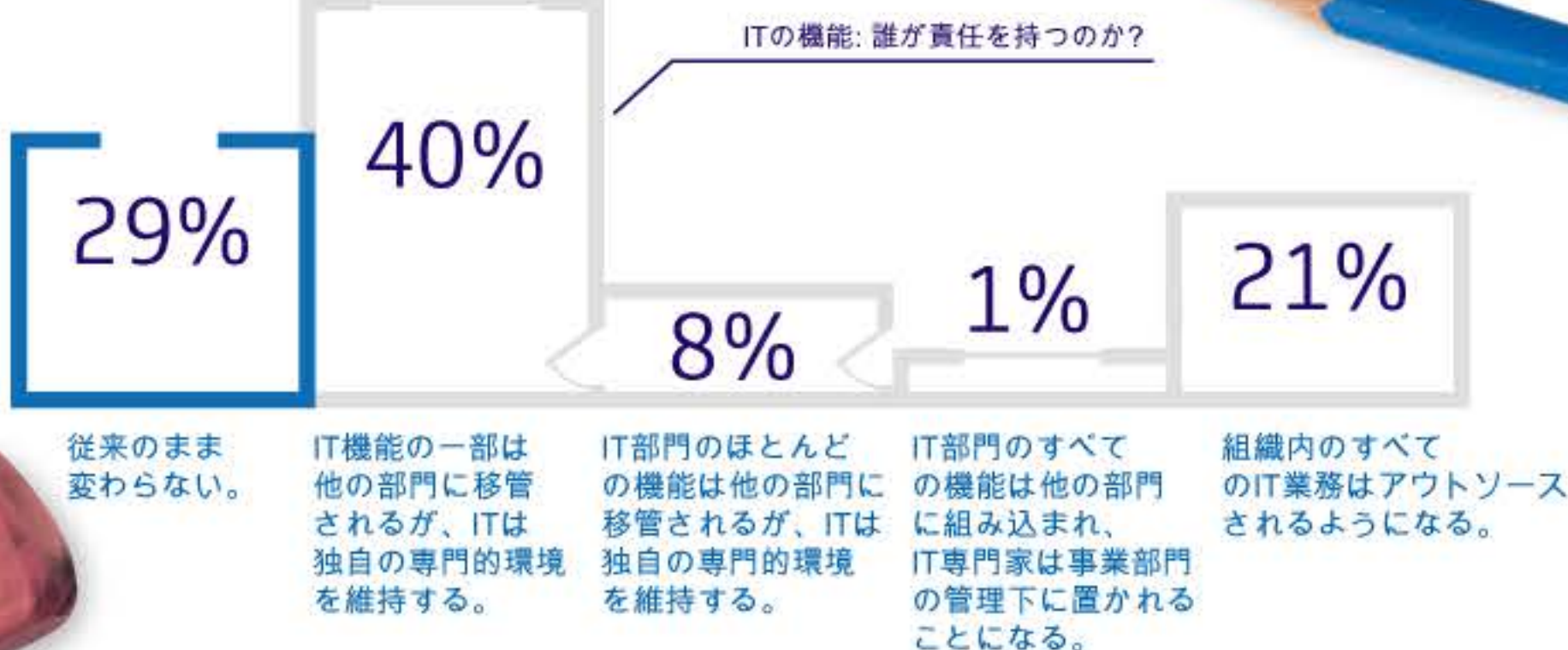
仲介業者、コンサルタント、それとも単一プロバイダー？

現在、回答者の52%はIT部門をITサービスの単一プロバイダーとしてではなく、ビジネス部門に対するサービス仲介者ないしコンサルタントとして見ている。



人々が予想するITの将来

70%のIT担当者が、企業におけるITの役割に大きな変化があると認識しているが、組織内で誰がITの責任を担うのかに関する合意はとれていない。



技術面での役割は縮小し、ビジネス面での役割に置き換わる

IT部門は今後も組織のインフラ、データ、アプリなどの管理、セキュリティの確保、修復といった役割を担っていくが、その役割は縮小していく。ITがビジネス指向の責任を負うことで組織にとってより戦略的なものと捉えられるようになる。

貴社におけるITの主たる役割として、現在と3年後では、それぞれどれが当てはまりますか？

技術上の役割	ITの主たる役割	現在	3年後
	組織の重要データのセキュリティ確保すること	28%	31%
	組織のインフラとアプリを維持管理すること	31%	17%
	従業員への技術サポートの提供	36%	24%
	問題発生時の対処	32%	31%
ビジネス上の役割	戦略ビジネスパートナー、業務のアドバイザー	40%	49%
	顧客体験の改善	32%	41%
	新規事業の推進力	25%	43%
	新規、革新的製品/サービスの開発者	15%	28%

ITは我々に何をしてくれているのか？

今回の調査により、今日のIT組織がビジネスにもたらす価値を定量化しておらず、それが原因でITの役割の重要性を損なわせることに繋がっていることも明らかになりました。

近代的なソフトウェアツールを使用してビジネスを追跡し、その結果をビジネス側へフィードバックするということが全く欠けていたのです。回答者の69%はIT計画のために「仮説」分析ツールを頻繁に使用していますが、現在のIT投資の効果を測定するために使用しているのは27%、そして投資の変動がビジネスに与える影響を理解するためには23%に留まっています。本来であれば、この種の情報によって、ITが資金の節約、売り上げ増大、その他を実現する方法をビジネス側に示す事ができるはずなのです。

**IT
測定基準を持て**

**売り上げ増大!
資金の節約!**

結論

日本のITリーダーは、IT組織に起こりつつあるあらゆる変化を理解し、ビジネスに対してITだからこそ提供できる価値を知り、ITの役割を進化させ、ITとの関連性を高めるために必要となる具体的な指針を定める必要があります。

今すぐ行動しましょう。

ホワイトペーパーは以下からダウンロードできます:
www.ca.com/techinsights/changing-role-of-IT
さらに詳しくはこちらをご覧ください: <http://www.ca.com/jp/>
ツイッターはこちら: @CA_Japan